

令和7年2月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

令和6年10月15日

上場会社名 丸東産業株式会社 福 上場取引所

コード番号 7894 URL https://www.marutosangyo.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 正之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部本部長 (氏名) 石松 謙太郎 TEL 0942-73-3845

半期報告書提出予定日 令和6年10月15日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 無 決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

17.0

234

1. 令和7年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(令和6年3月1日~令和6年8月31日)

9,229

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率) 親会社株主に帰属する 売上高 営業利益 経常利益 中間純利益 百万円 百万円 百万円 百万円 % % % % 7年2月期中間期 8,720 5.5 101 60.6 177 46.7 156 33.4

258

39.4

333

15.0

2.1 (注)包括利益 7年2月期中間期 242百万円 (40.7%) 6年2月期中間期 409百万円 (45.6%)

(12) 234 (3111) 1 = 73743 (1-3743 - 1-1-17513 (1011117) 1		(
	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
	円銭		円銭
7年2月期中間期	98.50		
6年2月期中間期	147.89		

(2) 連結財政状態

6年2月期中間期

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年2月期中間期	19,062	9,250	48.3
6年2月期	18,152	9,071	49.8

7年2月期中間期 9,216百万円 6年2月期 9,041百万円 (参考)自己資本

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
6年2月期		0.00		40.00	40.00
7年2月期		0.00			
7年2月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和 7年 2月期の連結業績予想(令和 6年 3月 1日~令和 7年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	 売上i	高	営業和	川益	経常和	引益	親会社株主 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	4.2	430	2.6	490	9.1	370	0.8	233.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

7年2月期中間期	1,590,250 株	6年2月期	1,590,250 株
7年2月期中間期	3,039 株	6年2月期	3,029 株
7年2月期中間期	1,587,217 株	6年2月期中間期	1,587,222 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想は現時点で入手された情報に基づいて策定しております。

実際の業績は今後さまざまな要因によりこれらの予想数値とは異なる結果となる可能性があります。本資料の予測に関する事項は[添付資料]の2ページ目を参照ください。

○添付資料の目次

2
2
2
2
3
3
5
7
8
8
8
8
8
_

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化、加えてインバウンド消費効果がプラス材料となり、景気は緩やかな回復基調の動きが見受けられました。一方で、不安定な国際情勢を背景とする原材料やエネルギー価格の高止まりは依然として継続しております。また、円安に起因した物価高騰における消費者マインドの基調判断は改善に足踏みがみられ、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、安定供給を第一に、お客様が求める製品の提案によって売上を拡大すべく、事業活動を行ってまいりました。

営業面では、ストレスフリー「掴めるくん®」及び乾燥剤フリー「吸湿くん®」などの機能包材や、「MARUTOエコプロダクツ(環境対応品)」、「MARUTOパッケージプロモーション(販売促進策)」の提案を行ってまいりました。また、少子化や核家族化といった社会的背景により、電子レンジを使用して簡単に調理できる包材の需要が年々増加していることを受け、本年5月には調理対応機能だけではない易開封性等の機能を付加した「楽チンさん」の販売を開始いたしました。このような新規開拓活動に注力した結果、新版の獲得件数は前年同期比35.6%の増加となりました。一方、原材料価格の高止まりに対する活動として、価格改定に関する取り組みを継続して行ってまいりましたが、原材料価格の上昇分を吸収するまでには至りませんでした。

生産面では、原材料価格の上昇分を内部で吸収する努力を行うとともに、お客様への安定供給を果たすべく、協力会社を含め一丸となって製品を製造する取り組みを行ってまいりました。また、新たな生産技術の確立として自動化のほか、初期コストと時間を削減し、迅速かつ高品質製品を提供できる最新鋭のIJP(インクジェットプリンター)を活用した生産技術に挑戦しております。

この結果、売上高87億2千万円(前年同期比5.5%減)、損益面では、営業利益1億1百万円(前年同期比60.6%減)、経常利益1億7千7百万円(前年同期比46.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は、1億5千6百万円(前年同期比33.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末日における総資産は、前連結会計年度末日に比べて9億9百万円増加し、190億6千2百万円となりました。これは主に、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であったことに伴う現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末日に比べて7億3千万円増加し、98億1千1百万円となりました。これは主に、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であったことに伴う電子記録債務の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末日に比べて1億7千9百万円増加し、92億5千万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、令和6年4月15日発表の業績予想から修正しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円
	前連結会計年度 (令和6年2月29日)	当中間連結会計期間 (令和6年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 394, 018	3, 929, 71
受取手形	412, 196	657, 08
電子記録債権	1, 026, 677	1, 176, 70
売掛金	3, 066, 186	3, 287, 49
商品及び製品	932, 598	1, 017, 57
仕掛品	366, 585	391, 53
原材料及び貯蔵品	321, 168	304, 03
その他	232, 160	195, 20
貸倒引当金	<u></u>	△50, 82
流動資産合計	9, 698, 007	10, 908, 51
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4, 040, 619	3, 899, 86
機械装置及び運搬具(純額)	972, 020	884, 14
土地	1, 252, 926	1, 253, 25
建設仮勘定	313, 636	336, 55
その他(純額)	298, 754	280, 43
有形固定資産合計	6, 877, 957	6, 654, 24
無形固定資産	365, 432	311, 58
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 156, 709	1, 113, 4
退職給付に係る資産	25, 612	29, 4
その他	29, 471	47, 3
貸倒引当金	△515	$\triangle 2, 0$
投資その他の資産合計	1, 211, 279	1, 188, 2
固定資産合計	8, 454, 669	8, 154, 0
資産合計	18, 152, 677	19, 062, 5
負債の部		10, 002, 0
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 419, 941	1, 597, 6
電子記録債務	2, 224, 476	3, 192, 0
短期借入金	698, 000	698, 0
1年内返済予定の長期借入金	653, 652	653, 6
未払金	58, 958	6, 1
リース債務	84, 086	83, 7
未払法人税等		
本44位入代号 賞与引当金	54, 839	87, 8 57, 6
	58, 144	
	671, 738	621, 0
流動負債合計	5, 923, 836	6, 997, 8
固定負債	0.500.000	0.001.1
長期借入金	2, 528, 006	2, 201, 13
リース債務	163, 421	135, 0
役員退職慰労引当金	68, 120	71, 6
退職給付に係る負債	394, 617	403, 1
その他	3, 200	3, 20
固定負債合計	3, 157, 365	2, 814, 09
負債合計	9, 081, 201	9, 811, 90

(単位		7	ш.	\
(里4)/	•	千	Н.)

	前連結会計年度	当中間連結会計期間
	(令和6年2月29日)	(令和6年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 807, 750	1, 807, 750
資本剰余金	786, 011	786, 011
利益剰余金	5, 840, 237	5, 933, 087
自己株式	△3, 828	△3,848
株主資本合計	8, 430, 170	8, 522, 999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	437, 177	414, 101
為替換算調整勘定	140, 845	250, 551
退職給付に係る調整累計額	32, 909	28, 844
その他の包括利益累計額合計	610, 931	693, 498
非支配株主持分	30, 373	34, 185
純資産合計	9, 071, 475	9, 250, 683
負債純資産合計	18, 152, 677	19, 062, 590

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 令和5年3月1日 至 令和5年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)
売上高	9, 229, 009	8, 720, 746
売上原価	7, 799, 410	7, 414, 704
売上総利益	1, 429, 599	1, 306, 041
販売費及び一般管理費	1, 171, 105	1, 204, 070
営業利益	258, 493	101, 971
営業外収益		
受取配当金	49, 921	71, 189
為替差益	12, 211	7, 168
その他	22, 944	13, 960
営業外収益合計	85, 077	92, 319
営業外費用		
支払利息	8, 449	13, 830
手形売却損	321	155
その他	1, 359	2, 456
営業外費用合計	10, 130	16, 442
経常利益	333, 440	177, 848
特別利益		
投資有価証券売却益	<u> </u>	44, 174
特別利益合計		44, 174
税金等調整前中間純利益	333, 440	222, 023
法人税、住民税及び事業税	92, 482	68, 296
法人税等調整額	6, 133	△4, 655
法人税等合計	98, 616	63, 641
中間純利益	234, 823	158, 382
非支配株主に帰属する中間純利益	86	2, 043
親会社株主に帰属する中間純利益	234, 737	156, 338

中間連結包括利益計算書

		(単位:千円)_
	前中間連結会計期間 (自 令和5年3月1日 至 令和5年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)
中間純利益	234, 823	158, 382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115, 766	△23, 075
退職給付に係る調整額	△4, 929	△4, 064
為替換算調整勘定	63, 474	111, 474
その他の包括利益合計	174, 311	84, 334
中間包括利益	409, 135	242, 716
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	407, 338	238, 904
非支配株主に係る中間包括利益	1, 796	3, 811

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 令和5年3月1日 至 令和5年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	333, 440	222, 023
減価償却費	268, 439	373, 400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17, 168	$\triangle 7,612$
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8, 517	12, 139
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	$\triangle 5,432$	$\triangle 1,645$
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1, 480	3, 480
賞与引当金の増減額(△は減少)	△693	△464
受取利息及び受取配当金	△49, 958	△71, 227
支払利息	8, 449	13, 830
投資有価証券売却損益(△は益)	_	△44, 174
売上債権の増減額(△は増加)	90, 713	△571, 491
棚卸資産の増減額(△は増加)	224, 139	△63, 209
仕入債務の増減額(△は減少)	△407, 803	1, 106, 036
その他の資産の増減額 (△は増加)	△62, 410	56, 967
その他の負債の増減額 (△は減少)	△51, 169	215, 368
その他	1, 090	△34, 652
小計	341, 635	1, 208, 768
利息及び配当金の受取額	49, 958	71, 227
法人税等の支払額	△59, 615	△36, 578
利息の支払額	△9, 627	△11,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	322, 350	1, 231, 593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△977, 436	△271, 829
無形固定資産の取得による支出	△104, 161	△138, 270
投資有価証券の取得による支出	△4, 648	$\triangle 5,365$
投資有価証券の売却による収入	_	59, 536
その他	△1, 900	△1, 394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 088, 146	△357, 323
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1, 700, 000	_
長期借入金の返済による支出	△205 , 410	△326, 826
配当金の支払額	△63, 395	△63, 327
リース債務の返済による支出	△7, 385	△28, 779
その他	$\triangle 0$	$\triangle 0$
財務活動によるキャッシュ・フロー	1, 423, 809	△418, 933
現金及び現金同等物に係る換算差額	26, 456	80, 355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	684, 470	535, 693
現金及び現金同等物の期首残高	2, 741, 610	3, 394, 018
現金及び現金同等物の中間期末残高	3, 426, 080	3, 929, 711

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

2024年9月30日に、当社一部サーバーにおいてランサムウェア被害が確認されました。現在、外部専門家の協力のもと調査を開始するとともに、システムの保護と復旧に向けて作業を進めております。

なお、今後の業績に及ぼす影響については現在調査中であります。





丸東産業は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

丸東産業のホームページ



丸東産業のサステナビリティ に関する取組みのご紹介

